

1. 旅行者誘客・滞在促進事業 **新**

(補正額)26,000千円
(所管課)観光政策課、誘致戦略課

○観光需要の早期回復に向けた台湾からの観光・MICE誘致の促進に要する経費

現状・課題

○令和5年9月の台湾からの定期便の就航は、コロナ禍や物価高騰の影響で疲弊している観光需要や地域経済の回復に向けた絶好の機会となるため、台湾からの誘客や消費喚起を伴う各種施策を展開することで、リピーターの獲得を図り、本市経済活性化の起爆剤とする。

※台湾からの訪日観光客は、令和5年1月～5月の全訪日観光客約860万人のうち約138万人(約16%)を占める。

事業概要

○事業費 26,000千円

○事業内容

(1)ウェルカムクーポン事業(観光政策課) 【12,000千円】

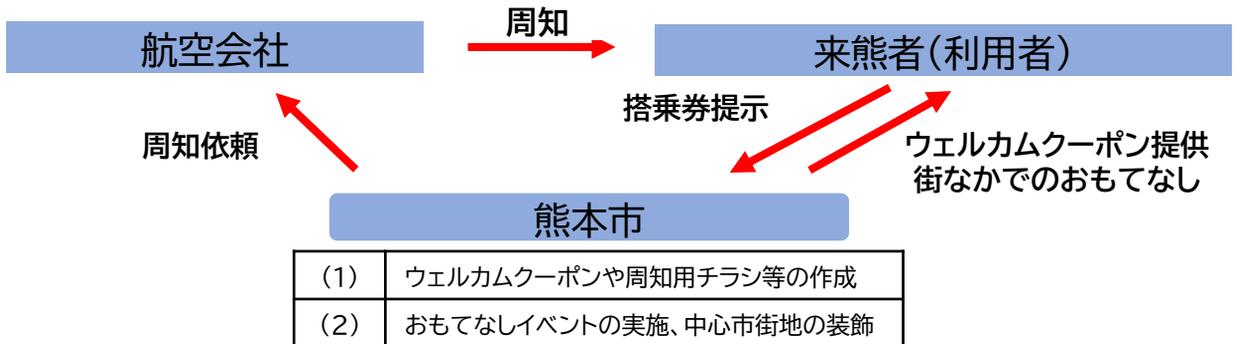
・台湾直行便を利用する旅行者を対象に、城彩苑・熊本城お休み処で利用可能なクーポン券を配布することにより、本市を訪れるきっかけを作るとともに、来熊リピーターの獲得を図る。

《積算内訳》

- ・クーポン助成費 9,000千円 (1人あたり2,000円×利用者見込み4,500人)
- ・クーポン運営費等 3,000千円

(2)街なかおもてなしイベント開催事業(観光政策課) 【5,000千円】

・市内中心部でのおもてなしイベントや中心市街地の装飾等を行う。



(3)MICE誘致による受入事業者支援事業(誘致戦略課) 【9,000千円】

・誘致プロモーションの実施や、助成金を創設することにより、MICEの誘致を促進し、地域経済の活性化を図る。

《積算内訳》

- ・MICE誘致プロモーション 3,050千円
周知用チラシ・ノベルティの作成、現地旅行博でのブース出展等
- ・インセンティブツアー等助成金(運営費含む)5,950千円(1人泊あたり5,000円×990人泊)

